

2019

1・21

月4回
月曜日発行

第1086号

週刊ビル経営

発行所 (株)ビル経営研究所
 〒104-0061
 東京都中央区銀座7-17-12 2F
 TEL 03 (3543) 7421
 FAX 03 (3543) 5839

発行人 垂澤清三
 年間購読料25,000円(税別)
 KAMEOKA NEWS AGENCY CORPS
 亀岡大郎取材班グループ

ソーコに学ぶ ビル経営



イーソーコ総合研究所
 代表取締役 出村 亜希子
 奈良女子大学大学院修了後CM
 会社を経て現職。一級建築士、
 宅建士。「倉庫ドクター」とし
 て建築面からオーナー支援に取
 り組む。

つきりだ 能ですから、デザイン
 った施主 のみにとどまらず幅広
 が、自分 い建物活用が検討でき
 でプラン ます。また物件のコン
 ニングす セプトや街とのつなが
 ることも りなどの意義を問い、
 珍しくな 設計に落とし込むのが
 くなりま 得意であることが多い
 した。自 ようです。

分を使う 一方、最近増えてい
 のですか る非建築出身のデザイ
 ら皆さん ナーは、グラフィック
 とても真 系やアート系など別の
 剣で、ア 分野の理論を持ち込む
 イデア ことで新しい建築デザ
 インを提案していま

ここ最近、倉庫リノ もどんどん出てきま
 ーションを手掛ける す。エクセルやパワー
 デザイナーが多様化し ポイントで平面図を作
 ています。この流れは 成したり、ホワイトボ
 倉庫リノーションにードを使って作戦会議
 限らず、オフィスや住 のようにレイアウトを
 宅の改装においても同 検討するなど、専門家
 様です。建築デザイン では考えもつかないよ
 は建築士だけのもので うな方法でプランをま
 はなくなり、自 とめるのです。特に
 由な発想で誰で のを企業イメージとし
 もデザインでき ングでは、スタッフ
 るようになって て魅せつつ、働く人た
 きているので ちのモチベーションに
 す。

第9回「多様化する建築デザイナー」

その要因のひ とつが、建築デザ
 ィナーの取り組 みやすさでしょ
 う。建築デザイ ン
 は躯体設計な どと違って室内
 のデコレーション 的な要素がメ
 インとなるの で、構造や設備
 に関する高い建築知識
 は必須ではありませ
 ン。またグラフィック
 系のソフトや設計機材
 が進歩し、専門家でな
 っても扱えるようにな
 ったのも大きな要因で
 す。

建築士と非建築系
 のデザイナーでは、
 アプローチや表現の
 仕方も異なります。
 これまで主流だった
 建築学科出身の建築
 系デザイナーが建築の
 基礎に忠実だったりす
 る例も出てきていま
 す。ここに挙げた例は少
 ないかもしれませんが、
 今では非建築系のデザ
 イナー理論を建築に取り
 入れたり、逆に非建築
 系デザイナーが建築の
 基礎に忠実だったりす
 る例も出てきていま
 す。

建築士と非建築系
 のデザイナーでは、
 アプローチや表現の
 仕方も異なります。
 これまで主流だった
 建築学科出身の建築
 系デザイナーが建築の
 基礎に忠実だったりす
 る例も出てきていま
 す。

以前は専門家に任せ
 のかといった判断も可
 感じます。